



西浮通信

令和3年6月30日
NO. 371
東京都北区立西浮間小学校
校長 小島 みつる

宿泊行事は中止になったけれど・・・

副校長 唐澤 伸郎

6月2日（水）～4日（金）のことになりますが、予定されていた5年生の岩井自然学園が緊急事態宣言の延長で中止となりました。今の5年生は昨年度4年時の岩井移動教室も臨時休校のため行くことができていません。

その5年生は宣言延長が決定した5月末、5年担任と岩井実行委員会の児童とが念入りに計画を立ててきた岩井自然学園のプログラムを「通常の学校生活の中で特別時間割を組んで実践しよう！」とすぐに前向きに切り替え、計画を変更して2日間の「岩井 IWAI スペシャルプログラム！！」を実行したのです。



その期間アリーナは他学年も5年生のために快く空けてくれ、本物さながらの朝会から、荒川土手すべり、キャンドルファイヤーやスポーツレクなど、実行委員会が中心となり一つ一つのプログラムを行っていきました。一日目の夜、家で夕食を食べる時、寝る時はみんなのことを考えて、と言うことで帰宅した子供たち。二日目の朝礼時、子供たちに聞いてみると半分位の人が実践できていました。

活動する子供たちの様子からは、岩井には行けなかったけれど、みんなで協力してとても楽しんでいることが伝わり、その姿に感動しました。さらに、感動したのは週明け月曜日の昼休み、校長室に実行委員会の児童が訪れ、「先週は楽しい活動をさせていただきありがとうございました。」とお礼を伝えに来たことです。「担任の先生方にお礼言ってね。」と言うと、「今、言ってきました。」と返答。全て自分たちで考えての行動だったのです。ここまで成長するのかと心底嬉しくなりました。

さて、数多くの教育活動が制限され、中止・延期してきたこの一年数か月。残念ながら楽しみにしていた7月の4年那須移動教室も中止となりました。西浮間小では常にどのような状況でも、今できることはないか、どんなやり方ならできるかを模索し、感染対策を講じた上で出来る限り行えることを実践してきています。4年生も来年の宿泊行事を楽しみに気持ちを切り替えて、次に進み始めました。

長いトンネルから抜け出すにはまだまだ時間がかかりそうですが、とにかく、励まし、出来ることにチャレンジさせ、成長に繋げていきたいと、改めて思う取組みでした。

最後に5年生の教室に掲示されている実行委員児童から5年生のみんなへのメッセージを紹介します。

- ・岩井がなくなってしまったけれど、たくさん盛り上げてくれてありがとう^^
- ・岩井には行けなかったけれど、あきらめないで頑張ったから楽しく二日間過ごせました。みなさんありがとうございました。
- ・学校でいろいろ工夫をし、岩井に負けにくいぐらいの催しができたのですごかった。
- ・岩井には行けなかったけど、新しいプログラムがあって楽しかった。
- ・学校でできることで岩井にいる感じになれてきずなも深まり、みんな仲良く楽しくやっていたすごかったです。
- ・岩井には行けなかったけれど、岩井の代わりに学校でできた事を感謝してこれからもがんばろう！

